

令和元年度 大人のための図書館歴史講座 -資料で見る三芳の歴史-

江戸時代、上富の作物

—なぜ、川越いもはうまいのか—



日時 **2月8日(土曜日)**
14:00~15:30 受付 13:40~

講師 **鈴木 義雄 氏**
(当館職員 元歴史民俗資料館学芸員)

会場 **三芳町立中央図書館 視聴覚室**
定員 **30名(申込先着順)**

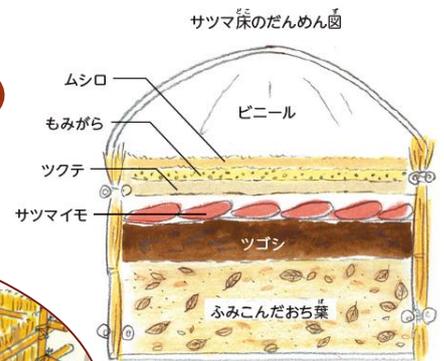
『甘藷記』(青木昆陽 著) 国立国会図書館デジタルコレクション
(<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2541263>) より転載
※著作権保護期間満了資料

江戸後期、あっという間に作付が広がり、畑方第一の作物とまで言わしめた作物。そこには江戸近郊という地の利を生かした販売戦略があったと推理する。キーワードは“**アナグラ**”。

※『その時 歴史が動いた』(第9巻、日本放送協会、請求記号:N.04ツ)にヒントがある。

三芳町ふるさと絵本

にもなった特産品「川越いも」
多くの人に愛されたその歴史に迫ります。



『おいしいなあれ富のいも』
わたなべひろみ/さく
たかいひろこ/え
発行/三芳町 より転載

申込み **三芳町立中央図書館(電話:049-258-6464)にて受付中!**

※駐車場は、複数施設の共有です。台数に限りがございます。